

136年の歴史に幕…

まちの
わだい

役犬原小学校の閉校記念式典が、3月12日に同小学校体育館で、歴代校長や職員、校区住民等450人が参加して行われました。

式では、全校児童が「役犬原太鼓」を披露。羽山校長が

「まとまりのある学校でした。136年の歴史の中には様々な苦悩もありましたが、校区の皆様や歴代の先生方の努力で乗り越えてきました。児童の皆さんは、本校で身につけた豊かな心と確かな力を、今後も発揮して下さい」と式辞。



▲全校児童で「役犬原太鼓」の披露。役犬原生として、最後の勇姿に多くの拍手が送られました。



▲多くの方々に見送られ、最後の卒業生10人が学び舎を後に。

その後、関係者が見守る中、記念碑の除幕と記念植樹が行われ、同校を偲ぶ会では、子ども達が学校の歴史や行事を紹介、長年地域の人々に親しまれた学校に別れを告げました。

同校は、明治8年以降2,104人が卒業。最近は少子化のため複式学級となり、今後も児童数の増加が望めないため、閉校。

4月からは碧水小学校へスクールバスで通学することになります。

3月25日には最後の卒業式が行われ、10人の卒業生が同校を旅立ちました。

役犬原小学校の沿革

明治5年11月	有志知覚村舎と称する学舎を営み、児童修学の機関とする。
明治7年8月	四分一校と改称
明治8年5月	役犬原小学校と改称
明治22年4月	尋常竹原小学校役犬原支校と改称
明治25年8月	役犬原尋常小学校と改称
大正元年11月	校舎落成（平屋建教室数3）
昭和10年11月	校舎新築
昭和16年4月	熊本県阿蘇郡役犬原国民学校と改称
昭和29年4月	相撲道場落成
昭和40年5月	町村合併により阿蘇町立役犬原小学校と改称
昭和54年12月	給食室竣工
昭和55年2月	完全給食開始
昭和56年3月	新校舎落成
昭和60年12月	新校章制定
昭和62年11月	体育館落成
平成6年4月	新プール完成
平成13年4月	全国花いっぱい運動で優良賞
平成14年4月	3・4年生複式学級となる。
平成15年4月	全校児童63名
平成17年3月	2・3年生、4・5年生複式学級となる。全校児童50名
	3・4年生、5・6年生複式学級。全校児童50名
	本年度入学児童0名
	2・3年生、4・5年生複式学級。全校児童35名
	閉校

子どもの健全な成長願い寄付金贈る

シンエイ産業 株式会社(代表：佐藤孝幸氏)が、3月22日、市に150万円を寄付されました。

佐藤氏は「健全な青少年の育成には、幼い頃からの教育の重要性を感じる。阿蘇市が誕生したので、ぜひ次世代を担う子ども達のために、また市民福祉の向上に役立ててほしい」と伝え、これに対し市長は「子どもは大切な市の財産、ありがたく教育・福祉のために使わせていただきます」とお礼を述べました。

なお、佐藤氏はこれまでも学校や災害援助に善意をいただいています。



中江岩戸神楽保存会を表彰



▲中江岩戸神楽保存会の皆さん。今回の表彰を誇りに、「がんばります！」

(財) 伝統文化活性化国民協会から、地域での伝統文化活動の振興に功労があったとして、国選無形民俗文化財「中江岩戸神楽保存会」が地域伝統文化功労者表彰を受け、3月25日に県庁で伝達式が行われました。嘉島町六嘉の獅子舞保存会、荒尾市野原八幡宮風流節頭保存会に続き3団体目。

中江岩戸神楽は、波野中江に伝わる伝統芸能で約240年前の明和の時代に始まりました。保存会は、この伝統芸能の保存と継承を目的に、1765年に「荻神社里楽」として結成され、その後「中江岩戸神楽保存会」と名称変更し、地域の方々への伝承活動を行っています。

保存会会長の榎木野霞さんは「めったにいただけない表彰を受けることができました。今後ともこの表彰に恥じないように楽員練習を重ね、阿蘇市はもとより県内外にPRをしながら伝統文化を保存していきたいと思っています。11月まで毎月第1日曜日に定期公演を中江神楽殿で行っておりますので、是非足を運んでいただきたいですね」と話されていました。

中江岩戸神楽は、日本の神話「天の岩戸」の神事を主体に、宮神楽・里神楽・宮中雅楽・日本の久米舞の新しい色彩を持つ衣装をつけた舞楽を折り混ぜ、五方礼始で始まり大神で終わる33座をひとつの芸能として構成しています。平成2年には、1昼夜連続で33座完全復元公演を県立劇場で行う偉業を成し遂げ、「波野」の名を全国に知らしめることになりました。また「神楽」を地域おこしの起爆剤として活用し、神楽フェスティバルや県内外の各種イベントに出演するなど、活動が広がっています。

卒業した先輩が経験談でアドバイス



▲先輩の話に真剣に耳を傾ける在校生

阿蘇清峰高校では、先輩の就労体験談や高校在学中に取り組んだことなど「生の声」を聴く「先輩と語る会」を新学期前の時期に行い、在校生の進路意識の高揚を図っています。(本年は3月18日)

野田誠治さん
宮崎南部森林管理局
H15年度森林科学科卒

「就職試験対策は早めに」
林業関係の公務員になりたくて、実績のあるこの高校を選んだ。ここでは、いろんな資格が取れる。資格は将来武器になる。公務員試験を前にあせった苦い経験があるので注意して。

早瀬寿樹さん
阿蘇清峰高校職員
H6年度林業科卒

「進路早く決めるのが目標達成のポイント」

大学まで悩まず進んだが、いざ就職となると現実には厳しい。今後常に周囲に目を向け、何でも率先してやるような心掛け、厳しい現実には耐えられる力をつけてほしい。

高村宗憲さん
県立農業大学畜産科
H15年度生物科学科卒

「家の後継ぎになる。その道も考えては」

農業をやっていることと決め、専門的に学べる清峰高校、県立農業大学を選んだ。将来やりたい仕事を決めていけば、専門の学校を選べ技術が身につく。これから家族と仕事をするようになるが、学んだ専門技術を取り入れていく。

池田 清さん
シンエイ産業(株)
H15年度環境科学科卒

「平板測量で全国大会に出場それが就職活動で役立った」

仕事は毎日成果を上げ、上司にも認めてもらわなければ昇格もない。私には夢があり、仕事しながらトライしようと思ったが、きつい。勉強できるのは高校にいる時。今を大事にしてほしい。

大西優子さん
特別養護老人ホーム梅香苑
H15年度社会福祉科卒

「人の役に立つ仕事にはやりがいがある」
仕事は忙しく、夢だったお年寄りとの会話も出来ないのが現実。ただやりがいがある。福祉の仕事は資格によってその内容も給料も違つ、よく考えてほしい。

毎週
第4主曜日は

『ふるさとおもしろ館』で 伝承遊びを楽しもう！！

(株)まちづくり阿蘇一の宮の企画で「あそ伝承文化村ふるさとおもしろ館」が、阿蘇神社前の「うなり茶屋」2階にオープン。この日を心待ちにしていた人たちで賑わいました。

きしむ階段を上がるとタイムスリップ。16畳のそこには、昔の阿蘇の暮らしがわかる品々が展示。これらは一の宮町文化協会の皆さんが作成されてきたもの。ここで毎月第4土曜日に文化協会の方が交替で、子ども達に「伝承遊び」を教えることになりました。

3月26日、集まった子ども達を前に高橋さんが「阿蘇神社はじめ、昔から伝わる大切なものを皆さんに守ってもらいたい」と挨拶。初回は、竹遊び・お手玉・皮のキーホルダーづくりが行われました。



※通常無料で開放しています。ぜひ、お立ち寄り下さい。



今年は下記のような「遊び」を予定しています。
午前10:00～ うなり茶屋2階(中央駐車場横)

期日	遊びの内容	指導者
4/23	絵話	高橋佳也
5/28	紙工作・節句に関する遊び	榎本ヒトミ
6/25	あやとり・おはじき	岩下クミ子
7/23	線香山	山内スミ子
8/27	竹細工・水遊び(水鉄砲)	井島昭年
9/24	お話し会(阿蘇神社の話・鬼八)	高橋佳也
10/22	綱引き	長尾 章
11/26	竹細工	井手主計
12/24	凧作り(凧揚げ会)	高橋佳也
1/28	羽根つき・けん玉・まりつき	山内スミ子 榎本ヒトミ
2/25	方言あそび	山部チモト

問合せ先：一の宮町インフォメーションセンター
Tel: 2 2-8 1 8 1

地域の夢大賞受賞 ～内牧案内人協会～

3月6日に、地域づくりに取り組む優秀な民間団体を表彰する第5回「地域の夢」大賞の選考会が熊本市内であり、「夢づくり部門」に阿蘇市からは『うちのまき案内人協会』と『一の宮前町商店街』が参加しました。

同部門は、これまでの活動内容を発表し競うもので、7団体が参加。『内牧案内人協会』が見事大賞を受賞しました。同協会は、内牧の観光名所旧跡、映画のロケ地をメンバー8人がボランティアで案内しており、内牧の観光振興に一役かっています。



▲堂々の1位！表彰式のもよう



▲日本を代表するハープ演奏者 永山友美子氏

愛の調べに涙

みやび+1(代表 森下幸美さん)が企画した「ハーブコンサート」が、3月25日に阿蘇神社で開催され、訪れた70人が感動のひとつときを過ごしました。

永山氏は、東京で音楽教室を主宰。人格に優れた方で、独特の語りとハーブ演奏で、全国の刑務所や福祉施設などを回り活動されています。

阿蘇神社では「アイリッシュハーブ」と「サウルハーブ」を演奏。その美しい調べと、施設を演奏活動する中での心の温まる体験談に会場から盛んな拍手が送られました。

※みやび+1は、今コンサートの収益金を福岡西方沖地震義援金と阿蘇神社の楼門修復費に寄付されました。

阿蘇の火まつり開催

一心行の桜まつりで全日程終了
約20万人の人出となる。

▶ 火文字焼き



阿蘇に春の訪れを告げる「阿蘇の火まつり」が、阿蘇郡市内で開催されました。

3月5日には、「火文字焼き」と「阿蘇ぶるまい」が行われ会場となった阿蘇市総合センターでは、郷土芸能の披露や物産市が行われ多くの観光客で賑わいました。ただ「火文字焼き」は雪のため鮮明には見えず残念そうでした。

3月13日は、「火振り神事」が阿蘇神社参道で行われ、観光客らが縄の先にカヤを束ねたたいまつに火をつけて振り回しました。

また、3月20日には道の駅波野「神楽苑」でそば打ち体験と神楽交流が開催され、訪れた人たちが思い思いにそば打ちを楽しんでいました。



▲火振り神事



▲雨の中、家族連れで「たかな折り」を楽しむ参加者

雨にも負けず たかなの収穫体験

阿蘇の特産「たかな」を自分で収穫し、漬込む体験ができる「阿蘇たかな祭り」が、3月27日に三久保の畑35aで開催されました。

当日は、あいにくの雨でしたが参加者はカッパを着て思い思いにたかなを手で折り、持参した樽に漬込んでいました。

今回は、阿蘇町青年農業者クラブ（代表：阿部寛樹さん）が種蒔きから管理を担当しましたが、「ここ数日寒さが続いたので、例年よりも一週間ほど成長が遅いようです」と話していました。

※食へる時には、一度水で戻して、ゼンマイを煮るときのように料理します。

≪保存方法（乾燥）≫

フラビをゼンマイの保存方法と同じように、熱湯で茹でて、天日で水分がなくなるまで乾燥させ、保存袋に乾燥剤を入れ、保存する。

≪保存方法（塩漬）≫

フラビを桶の中に広げ、その上から塩をたっぷりかける。フラビが多い場合は、その上にフラビを広げ、また塩をかける。

※塩が少ないと青味がなくなり、保存ができなくなります。

≪すしに食へる場合≫

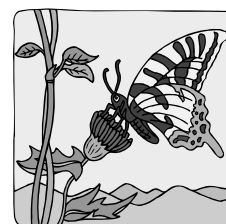
(1) 大きいボウルにフラビを入れ、その上から重曹をふりかけ、熱湯をフラビがひたひたになるようにかける。

(2) (1)に軽く重しをして一晩おき、料理をする前にもう一度水につけ、重曹を抜く。

※煮付けや酢の物、味噌汁に入れて食へるとおいしい。

お元気ですか
～食生活改善推進委員会～

『フラビの保存方法』





「ロッソ熊本」に

阿蘇市出身

高木 健太 選手入団!

「ロッソ」熊本とは、今年できたばかりの熊本初のプロサッカーチーム。その登録選手を決める入団テストが12月にあり、阿蘇市永草出身の高木健太さん23が見事合格し、メンバー入りを決めました。

この入団テストは、元Jリーガーなど63名が参加するレベルの高いものでしたが、高木選手も入団前は栃木SC(JFL)に所属する実力の持ち主。

小学校の頃からサッカー少年だった高木選手は、中学校はサッカー部のある一の宮中を選択。その後、熊本国府高校へ。

高校時代は主将として活躍。卒業後、栃木県で就職、同時に栃木SCに所属、仕事とサッカーの両立でがんばる日々。

そしてこの度「熊本にプロサッカーチームができる」というニュースを聞き、「地元で活躍したい」と入団を決意しました。

さて、チームも高木選手もスタートしたばかり、阿蘇市初のJリーガーを目指してがんばってほしいですね。

☆高木選手にインタビュー☆

Q. 2月にチームが始動して、1ヵ月がたちましたが、いかがですか?

栃木では、昼間仕事して夜に練習でしたが、今は朝から夕方までみっちり練習ですから、きついです。

Q. 九州リーグが開幕しましたが、目標は?

JFLへの昇格に向け、チーム一丸となりがんばります。

(現在の地域リーグからJFLへ昇格するには、九州地区で優勝し、さらに全国での試合の結果決まる。年内には決定する。)

Q. 阿蘇市の皆さんへ一言

また、時間をみつけて、地元のサッカー少年に指導のお手伝いができればと思っています。
ぜひ応援をお願いします。

<九州リーグ 試合日程>

試合期日	対戦相手	会場
4/24	海邦銀行SC	水前寺競技場
5/22	新日鉄大分	八代陸上競技場
6/18	沖縄かりゆし	大津町運動公園
6/19	FC琉球	大津町運動公園
7/31	ニューウェーブ北九州	水前寺競技場
9/4	V・ファーレン長崎	水前寺競技場
9/25	ヴォルカ鹿児島	大津町運動公園
10/1	沖縄かりゆし	KKWING
10/2	FC琉球	KKWING

※県内開催のみ抜粋

「ロッソ熊本」誕生までの経緯

チームの母体は、NTT西日本(実業団チーム)から、クラブチームへ移行した「アルエット熊本FC」。

H16.9月 県民運動推進本部設立

H16.11月 元柏レイソルの監督池谷友良氏を初代監督に迎える。

H16.12月 チーム名をイタリア語で「赤」の意味で、阿蘇山や火の国をイメージした『ロッソ』に決定。

H17.1月 24名の入団選手発表。

『和太鼓』をやってみませんか

大阿蘇御神火太鼓保存会では、会員を募集しています。初心者の方も大歓迎! お子さん連れでもOKです。

現在、火振り神事などのイベントや文化祭で演奏しています。やりがいがあって楽しいですよ。

＝女性の部＝18～40歳位までの方

練習日：昼の部 月曜日 10:00～11:30

夜の部 火曜日 19:30～21:00

月に3回の練習です。会費は3,000円/月

＝民謡太鼓の部＝18歳以上の方

練習日：月に3回 火曜日以外の曜日で予定

19:30～21:00

練習場所：共に両山橋横の練習場

詳細・申込先：Tel.22-0217(宮部)



仲間募集

阿蘇と天草が舞台の映画

「風のダドゥ」撮影はじまる

～阿蘇市内のロケ6月いっぱい実施～

映画「チンパオ」「ドン松五郎の生活」「pidipi飛べないホテル」など数々の名作を手がけ、独特のヒューマンストーリーを奏しだす映画監督 中田新一氏が、このほど「阿蘇」「天草」を舞台とする映画製作に取り組むことを決め、その報告のため、3月18日に阿蘇市役所を訪れました。

「風のダドゥ」製作実行委員会は、会長 坂本 正(熊本学園大学長)、副会長 安田公寛(天草観光協会会長)、小笠原徹朗(阿蘇観光協会長の3氏。

映画のストーリーは、記憶を失い心に傷を負った高校教師 悠介が、馬との出会いによって生きる力を取り戻していくというもの。悠介は「風語と呼ばれる心の言葉を理解できる不思議な能力が自分に備わっていることに気付く…。

「ダドゥ」とは、馬の体内から聞こえてくる音のこと。心の「癒し」をテーマに描かれるこの映画は、きつと観客に「大切な何か」を気付かせてくれるはずです。

この映画のロケは、これから6月いっぱい阿蘇市の草原で行われます。

映画が完成し、阿蘇のすばらしいロケーションが全国のスクリーンに登場するのは、来年春です。お楽しみに！

※ メインキャストや撮影の様子は来月号でお伝えする予定です。



▲手前中央が中田新一監督

映画製作に興味のある方にチャンス！

<映画「風のダドゥ」ボランティアスタッフ募集>

撮影期間：5月連休後～6月末

撮影場所：阿蘇・天草・九重・長崎

募集内容：

- ・自分で撮影現場まで来られる方
- ・毎日参加できる方(休みたい日は相談下さい)
- ・18歳以上の方
- ・自主製作映画・映画研究部など映画製作経験や興味がある方 ※交通費・食費はこちらが負担します。

募集パート：

- ・演出部(演出に関する手伝い・エキストラ管理)
- ・撮影部(撮影スタッフのアシスタント)
- ・美術部(セットの装飾、小道具の手伝いなど)
- ・照明部(照明スタッフのアシスタント)
- ・ヘアメイク部(経験者)
- ・製作部(車運転・ボランティアスタッフ管理)

詳しくは、

阿蘇市役所まちづくり商工観光課
Tel: 22-3174 まで

